

## ● 内政

### 1 国家開発統一党と統一繁栄国民和解党の支持者同士が西部州で投石の応酬

8月4日、西部州ルアンパにおいて、与党国家開発統一党（UPND）の支持者とみられる集団が野党統一繁栄国民和解党（NRPUP）大統領候補のブライアン・ムンドゥビレ氏の車列を妨害しようとした後、両党の支持者同士で衝突が発生し、投石の応酬となった。（8月5日付 News Diggers）

### 2 警察、ムンドゥビレ候補の選挙運動中に催涙ガスを発射

8月5日、西部州モングにおけるムンドゥビレ氏及び副大統領候補のマケビ・ズル氏による街宣活動中に、警察が群衆と演壇に向かって催涙ガスを発射し、イベントは中止となった。（8月6日付 Daily Nation）

### 3 警察長官、催涙ガス使用の検証を指示

8月6日、ムサンバ警察長官は、前日の西部州モングにおける事件及び催涙ガスを用いて野党支持者を解散させた同州カラボにおける群衆整理に関し、地元警察に対し検証を指示した。（8月7日付 News Diggers）

### 4 総選挙の投票が行われる

8月13日、朝6時から総選挙の投票が開始された。投票終了予定時刻の午後6時になっても有権者が投票所に残っていたため、投票時間を延長した投票所もあった。また、物流上のトラブルにより開始が遅れた投票所については、選挙管理委員会は、12時間の投票時間を確保すると発表した。（8月14日付、News Diggers）

### 5 司法当局、ムンドゥビレ氏の自宅とされる住

### 居で治安作戦を実施、野党幹部らを逮捕

8月14日、ムンドゥビレ氏の自宅とされる住居において、司法当局の合同任務部隊による治安作戦が実行され、武装した民兵5名を逮捕し、複数の統一繁栄国民和解党幹部を拘束した。（8月16日付 Times of Zambia）

### 6 選管、開票作業と発表を一時停止

8月14日、ザンビア選挙管理委員会は開票作業及び大統領選挙結果開票速報の発表を停止した。その理由は、複数の開票所で選挙係員を狙った暴力行為が発生し、記入済みの投票用紙が盗まれるなどしたため、安全に開票を進めることが困難になったためとしている。右措置は、脅威が封じ込められ、開票を再開できる体制が整ったとして、同日中に解除された。（8月14日付 Lusaka Times）

### 7 選管、ヒチレマ大統領の再選を宣言

8月18日、ザンビア選挙管理委員会は現職のヒチレマ大統領の再選を発表した。ヒチレマ大統領の獲得票数は296万5326票、野党統一繁栄国民和解党のムンドゥビレ候補の獲得票数は185万6217票であった。（ザンビア選挙管理委員会発表）

### 8 ムンドゥビレ氏、大統領選の異議申立てを行う意向を表明

8月18日、大統領選挙で敗北した野党統一繁栄国民和解党（NRPUP）のムンドゥビレ氏は、投票用紙及び選挙資材に関する不正行為や、投票所で記録された票数と後の発表票数が異なるとして、大統領選挙の異議申立てを行う意向を表明した。（8月19日付 News Diggers）

### 9 14日の治安作戦によりカフワヤ元通信・運

## 輸大臣が死亡

8月19日、ムサンバ警察長官は、8月14日のムンドゥビレ氏の自宅とされる住居での治安作戦において死亡した人物が、元通信・運輸大臣のムトトウェ・カフワヤ氏であることが家族によって確認されたことを明らかにした。(8月20日付 News Diggers)

## 10 警察、ムンドゥビレ氏らを召喚

8月20日、ムサンバ警察長官は、弁護士を通じて、ムンドゥビレ氏とマケビ・ズル氏を事情聴取のため召喚したことを明らかにした。逮捕を恐れた両氏は国連機関に保護を求めたとされている。(8月21日付 News Diggers)

## 11 大統領選挙異議申立て期限を前に、全国の裁判所を閉鎖

8月24日、大統領選挙の異議申立て期限が8月25日に迫る中、治安上の理由を挙げて憲法裁判所を含む全国各地の複数の裁判所は閉鎖され、武装警察官が敷地を封鎖した。(8月25日付 News Diggers)

## 12 司法府長官の私用メールアドレスに異議申立てが届く

8月25日、司法府は、マリラ司法府長官の私用メールアドレス宛に「大統領選挙に対する異議申立て」と題した書類が添付されたメールが送付され、同長官は憲法裁判所に対して受理の可否を検討するよう求めたとの声明を発表した。(司法府プレスリリース)

## 13 異議申立てに関する矛盾した発表により混乱

8月25日、カングワ官房長官は、24日午後6時までに憲法裁判所に対して大統領選挙結果に対する異議申立ては提出されなかったとする司法府から書簡を受領したことを公表した。先の司法

府声明と矛盾する発表により、国民が混乱している。(8月26日付 News Diggers)

## 14 警察、ムンドゥビレ氏とマケビ・ズル氏を事情聴取したのち勾留

8月27日、ザンビア警察はムンドゥビレ氏とマケビ・ズル氏が警察の事情聴取を受け、両氏に国家反逆罪について警告と注意を与え、警察の勾留下に置かれていることを明らかにした。(8月28日付 Zambia Daily Mail)

## 15 ムンドゥビレ氏とマケビ・ズル氏を国家反逆罪で起訴

8月30日、ザンビア警察のチラビ広報官は、勾留中のムンドゥビレ氏とマケビ・ズル氏を、国家反逆罪で起訴したことを認めた。(8月31日付 Zambia Daily Mail)

## ● 外交・対外関係

### 1 EU選挙監視団、暫定報告書を公表

8月15日、欧州連合選挙監視団(EU EOM)は記者会見を開き、暫定報告書の内容を公表した。選挙当日は全体的に平穏で、投票は概ね効率的に行われ、有権者に多様な選択肢が提供されたとしながらも、選挙運動への制限や現職者の優位性が不公平な競争環境を阻害したと指摘した。(EU選挙監視団プレスリリース)

### 2 各地域共同体選挙監視団が合同で暫定報告書を公表

8月15日、アフリカ連合(AU)・東南部アフリカ市場共同体(COMESA)合同選挙監視団、南部アフリカ開発共同体(SADC)選挙監視団及び太湖地域国際会議(ICGLR)選挙監視団が合同で記者会見を開き、各暫定報告書を公表した。投票日は平穏かつ秩序が保たれていたことを評価しつつも、制度面や運用面の課題を指摘した。(SADCプレスリリース)

### **3 米国、中国がヒチレマ大統領の再選を祝福**

8月20日、米国は、ハカインデ・ヒチレマ大統領が再選したことへの祝意を表明した。また、中国の習近平国家主席もヒチレマ大統領に祝意を送り、国家元首として中国・アフリカ協力フォーラム北京サミットの成果を実行するために協力する用意があるとした。(8月21日付 News Diggers)

### **4 中国大使、ヒチレマ大統領を表敬訪問**

8月26日、韓鏡（ハン・ジン）駐ザンビア中国大使は、ヒチレマ大統領を表敬訪問し、ザンビアと中国の長年にわたる二国間関係について協議した。(8月27日付 Daily Nation)

### **5 英連邦、ヒチレマ大統領との協力へのコミットメントを再確認**

8月27日、英連邦はハカインデ・ヒチレマ大統領の再選を祝した。ボッチウェイ事務総長は、ヒチレマ大統領が2期目を務めるにあたり、ザンビアとの長年にわたる関係への組織のコミットメントを再確認し、引き続き協力する用意があると表明した。(8月28日付 News Diggers)